

委員会 レポート

委員会活動として、閉会中に行った所管事務調査の結果内容を、各委員会は第9回定例会において、次のとおり報告しました。

総務文教常任委員会 調査報告

社会教育施設の現状について

本町の社会教育施設は、昭和40・50年代に建設されたものが多く、建設後、全面的な改修等を行っておらず、老朽化が進んでいるため、社会教育課としての今後の整備計画(案)について説明を受けた後、体育館、農業研修会館、柔道場、町民テニスコート、町民野球場、町民水泳プール、文化センター、アイスマリーナ、御影公民館、農村環境改善センターを巡回し、現地視察を行った。施設整備に関して各委員から、①体育館は財政上可能であれば改築が望ましく、建設場所や規模を慎重に検討する必要がある②農業研修会館は今後の方向

性を明確にしてから改修すべき③柔道場の建物内にトイレは必要な設備である④町民野球場は関係者と協議して改修を進めるべき⑤アイスマリーナはフロングラスの使用期限があり、屋根の張り替えは慎重に検討すべき⑥町民水泳プールは学校プールとして改築が計画されており、御影小学校プールの活用も検討する必要がある⑦文化センターは雨漏りの対策

は必要であるが、他の改修は多額の費用を要するため、利用状況等を考慮し検討すべき、などの意見が出された。本町の財政状況は、



町民水泳プールは改築への検討が必要

主要建設工事の進捗状況について

産業厚生常任委員会 調査報告

清水小学校大規模改修事業の進捗状況について、現地視察を行い、調査・確認を行った。建築主体工事である校舎棟外部の改修では、屋上の一部防水改修と屋根のふき替え工事が実施され、校舎棟内部においては床部分の木質フロアを撤去し、新たなシートの貼り付

適したLED・LVD電灯を採用し、また、部外者の侵入を防ぐために新たに職員玄関に電磁式の鍵とカメラモニターが付属されたイン

ターホンを設置した。授業中、児童玄関はすべて施錠され、来校者の出入り口は職員玄関だけとなり、鍵の開閉は職員室からモニター確認をして遠隔操作で行うことができる。機械整備の改修では、トイレの衛生器具・配管・換気設備の更新及びコンピューター教室の空調設備の更新を行い、冷暖房に対応する環境を整えられた。また、機械室の天井に露

出していたアスベスト含有断熱材を撤去し安全な設備維持が図られ、暖房機器も従来の高圧蒸気暖房から温水暖房へ更新し、高温蒸気漏れ事故の危険性を回避するようになっていく。体育館棟においては、床面に設置していた暖房放熱器を撤去し、壁上部に遠赤外線ヒーターを設置することで、今まで以上の暖房効果とフロアを有効に使用できるようになった。



清水小学校改修事業の進捗状況を視察